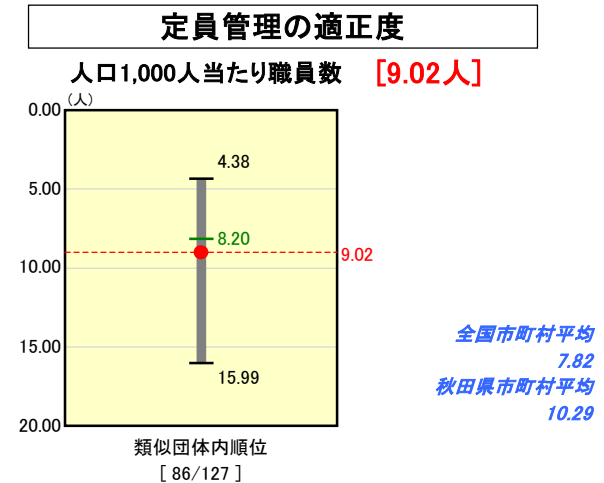
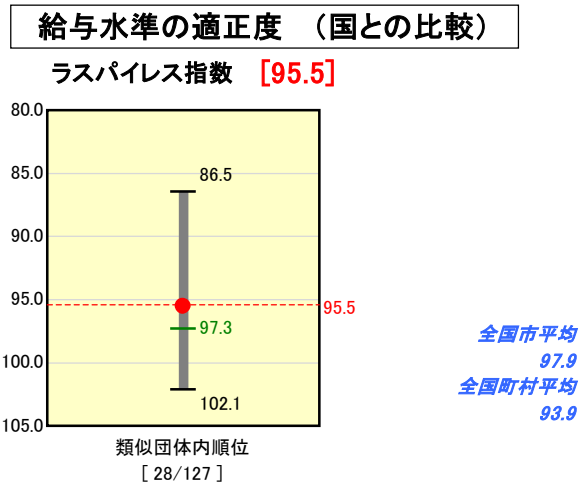
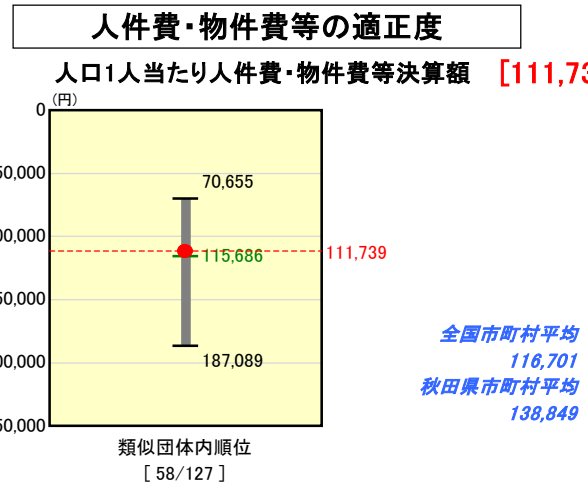
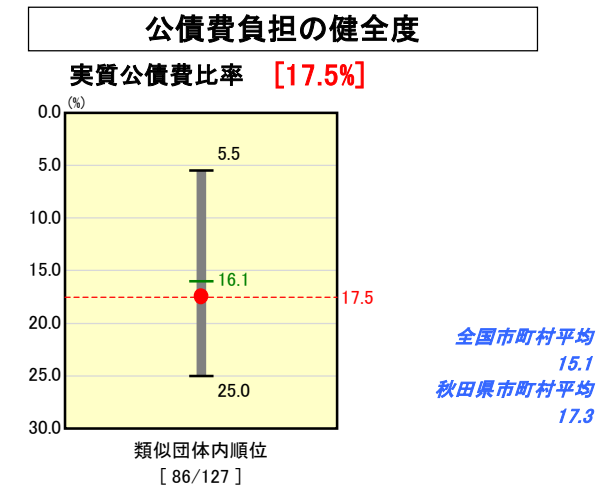
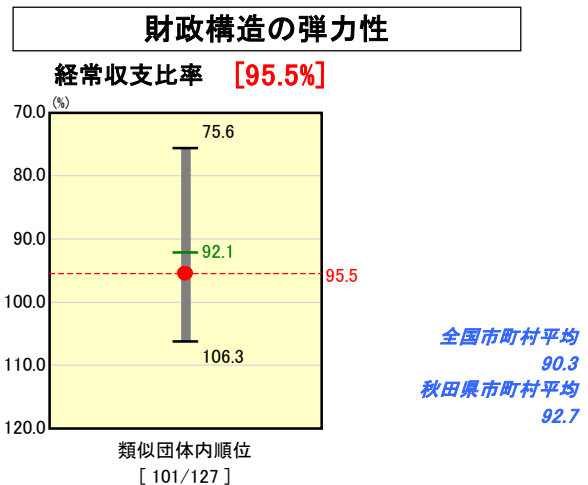
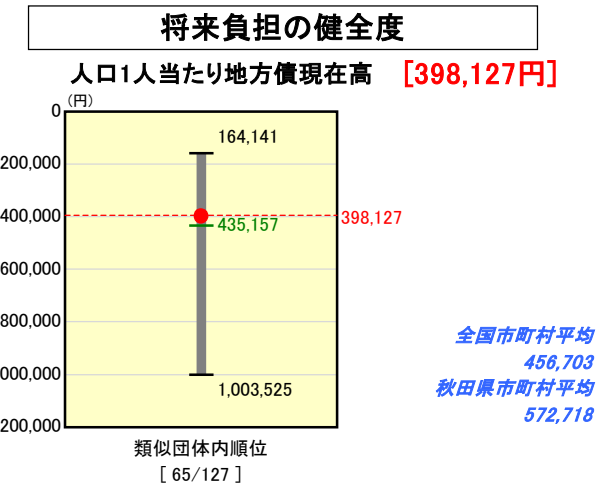
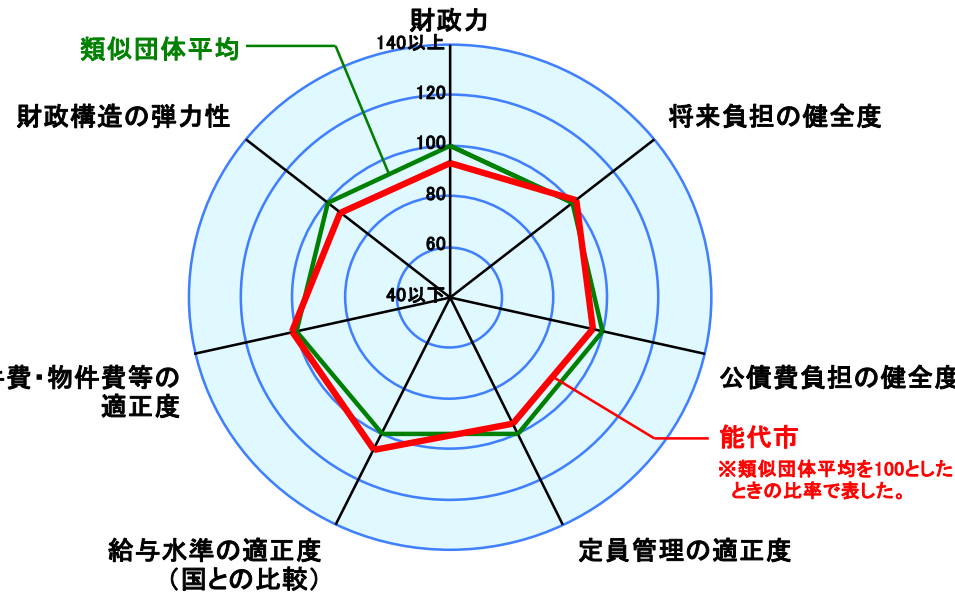
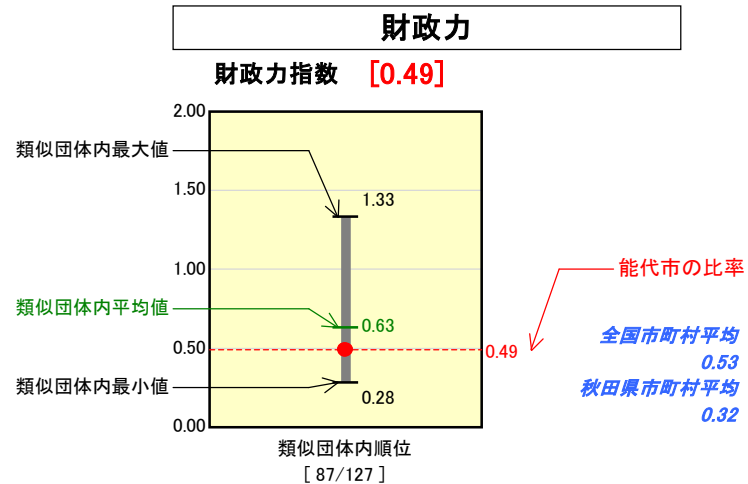


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

秋田県 能代市

人口	63,298 人(H19.3.31現在)
面積	426.74 km ²
歳入総額	23,566,114 千円
歳出総額	23,118,184 千円
実質収支	429,800 千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数
類似団体より0.14ポイント下回っている。歳出では「集中改革プラン」に基づき事務事業の整理、人件費の削減等を進めているが、歳入において景気の低迷による地方税の減収等もあり、指標改善のためには更なる歳出削減と、徴収率向上による収収の確保等歳入歳出両面での対策が必要である。

経常収支比率
県内及び全国平均いずれからも2.5ポイント以上上回っている。平成18年9月に策定した「集中改革プラン」に基づき、事務事業の整理、民間委託等の推進、定員管理の適正化等に努め、効率的な行政運営による財政の健全化を図る。

人件費・物件費等の適正度
全国平均をやや下回っているが、引き続き事務事業の見直しや定員管理の適正化を図り、歳出の削減に努める。

将来負担の健全度
全国平均を下回っているが、引き続き後年度負担を考えた計画的な借入に努め、財政の健全化を図る。

公債費負担の健全度
県内及び全国平均をやや下回っている。公債費負担の中長期的な平準化の観点も含めながら事業の選択を行い、比率の改善に努める。

人口1,000人当たり職員数
全国平均を上回っているが、18年9月策定の「集中改革プラン」により平成22年4月1日の職員数を589人(平成17年4月1日の職員数673人と比較すると、削減数は84人、削減率は12.5%)と設定した。平成28年4月1日には、職員数を市民1,000人に対し7人の割合とする考え方で、新規採用者数を定年退職者の五分之一とし、財政の健全化を図る。

ラスパイレス指数
国の基準及び類似団体を参考に給与水準の適正化に努める。